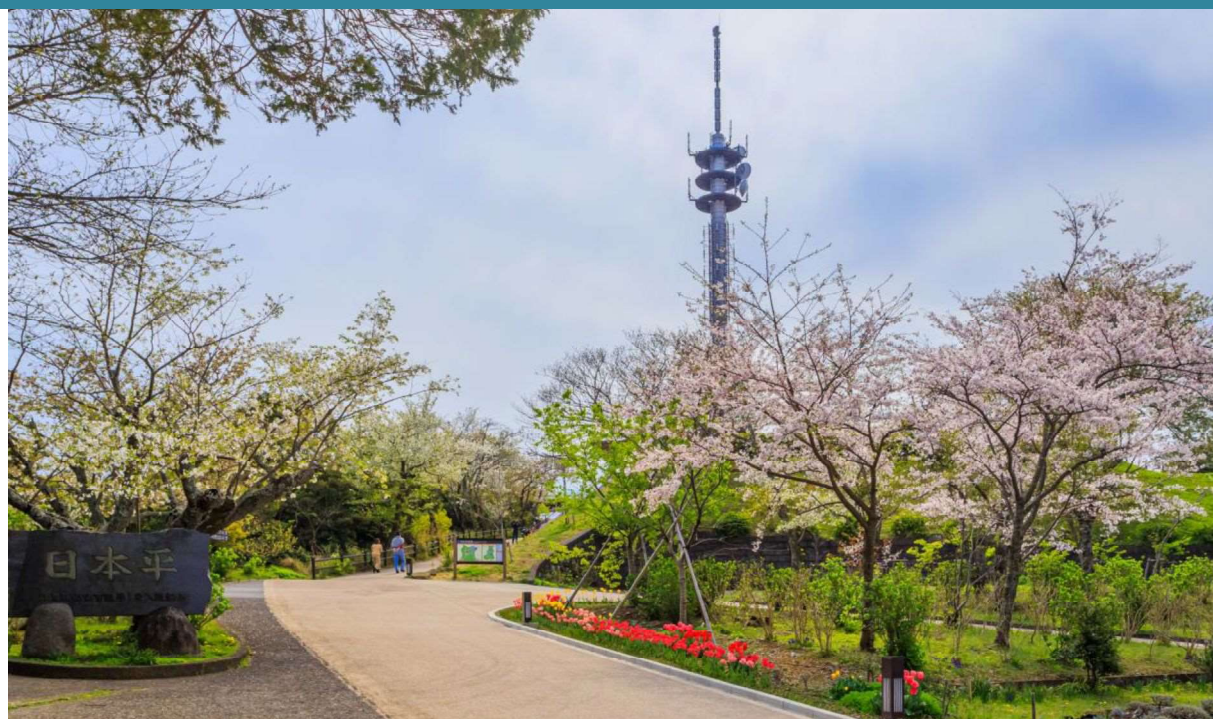


令和6年度 静岡市公共事業評価委員会

【事後評価】社会資本総合整備交付金

日本平における
観光レクリエーション機能強化による地域活性化



都市局都市計画部公園建設管理課 令和6年12月4日

目 次

- 社会資本総合整備計画概要
- 評価内容① 要素事業の進捗状況
- 評価内容② 評価指標の目標値の実現状況
- 評価内容③ 事業効果の発現状況
- 評価内容④ 今後の方針

社会資本総合整備計画概要

■計画の名称

日本平における観光レクリエーション機能強化による
地域活性化

■計画の期間

令和2年度～令和6年度（5年間）

■全体事業費

2,420百万円

基幹事業：3事業

（都市公園、電柱地中化、水道施設設置）

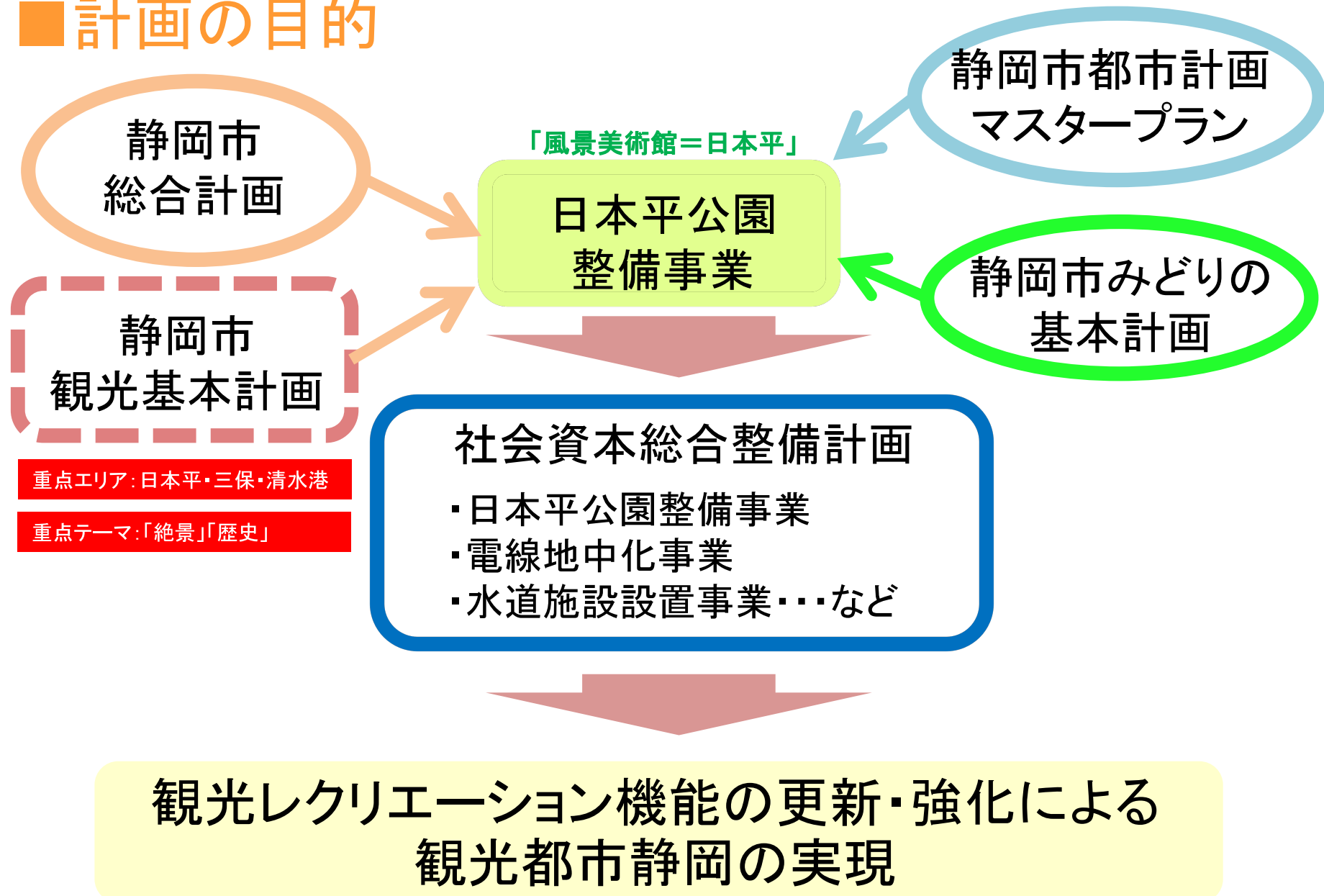
関連社会資本整備事業：2事業

（市道清水日本平線外舗装修繕、市道清水日本平線整備）

効果促進事業：1事業

（水道施設設置）

■計画の目的

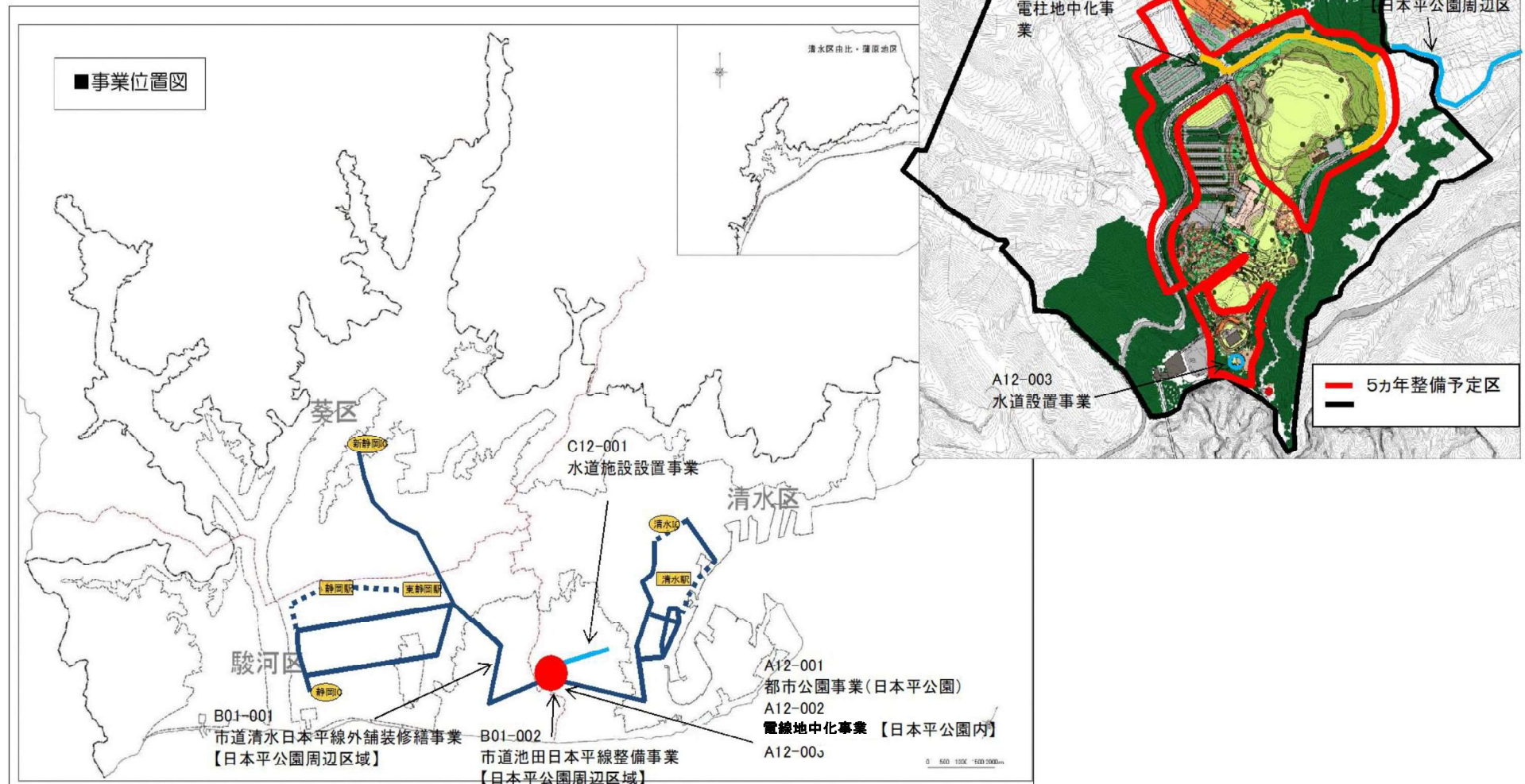


■事業内容

区分	事業種別	事業名称	事業年度	評価時の 完成状況
基幹事業	公園	都市公園事業（日本平公園）	R2-R6	次期計画へ 継続
	公園	電線地中化事業	R2-R6	次期計画へ 継続
	公園	水道施設設置事業	R2-R6	次期計画へ 継続
関連	道路	市道清水日本平線外舗装修繕事業	R2	完成
	道路	市道池田日本平線整備事業	R5-R6	完成見込み
促進効果	公園	水道施設設置事業	R4-R6	次期計画へ 継続

6要素事業中1事業の整備が完成し、
1事業がR6年度完成見込み、
4事業が次期計画へ継続している。

■事業位置図



日本平公園整備事業の概要

基本計画区域 33ha



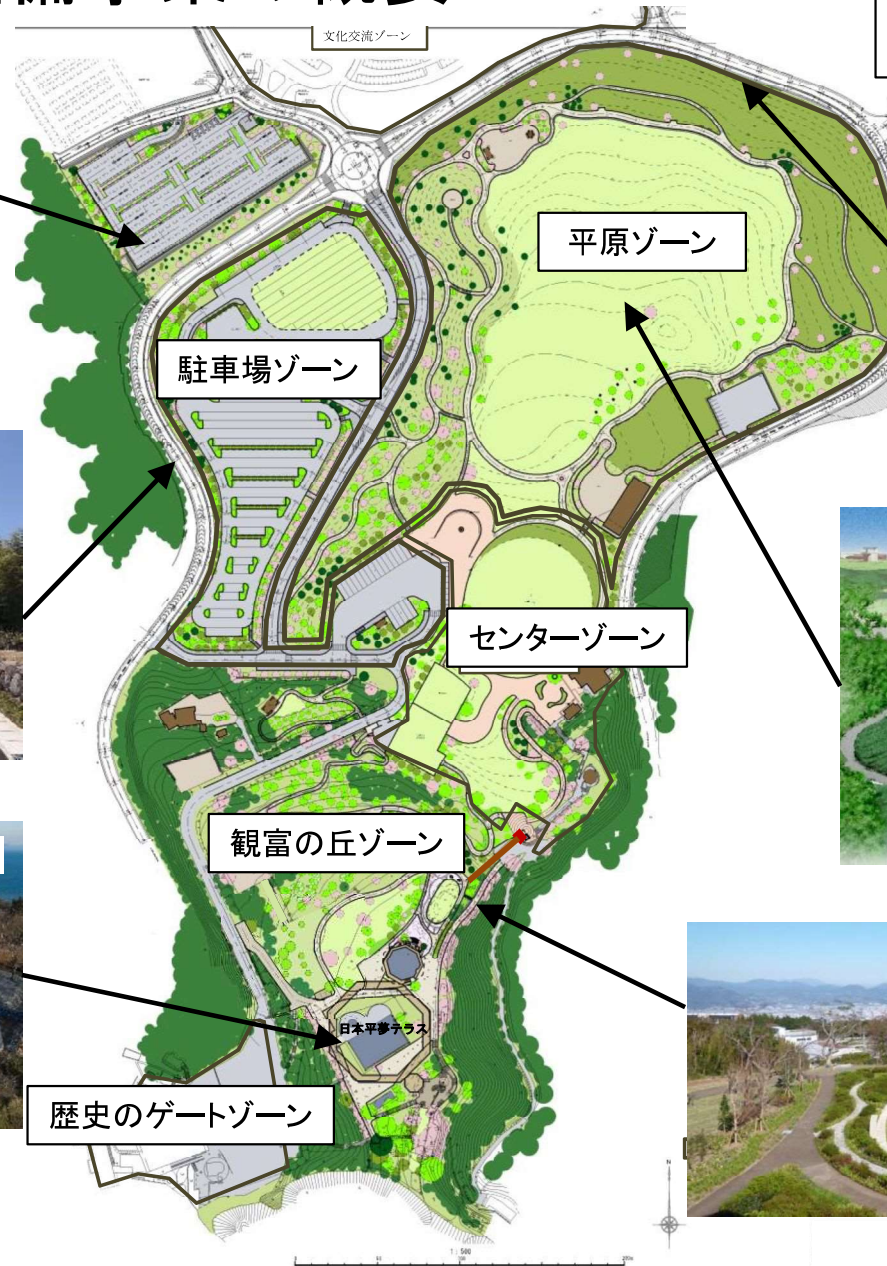
平原ゾーン駐車場の整備



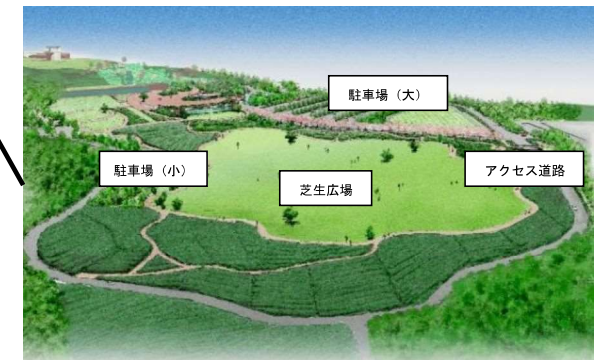
アクセス道路



展望施設（日本平夢テラス）



眺望を阻害する電線の地中化工事



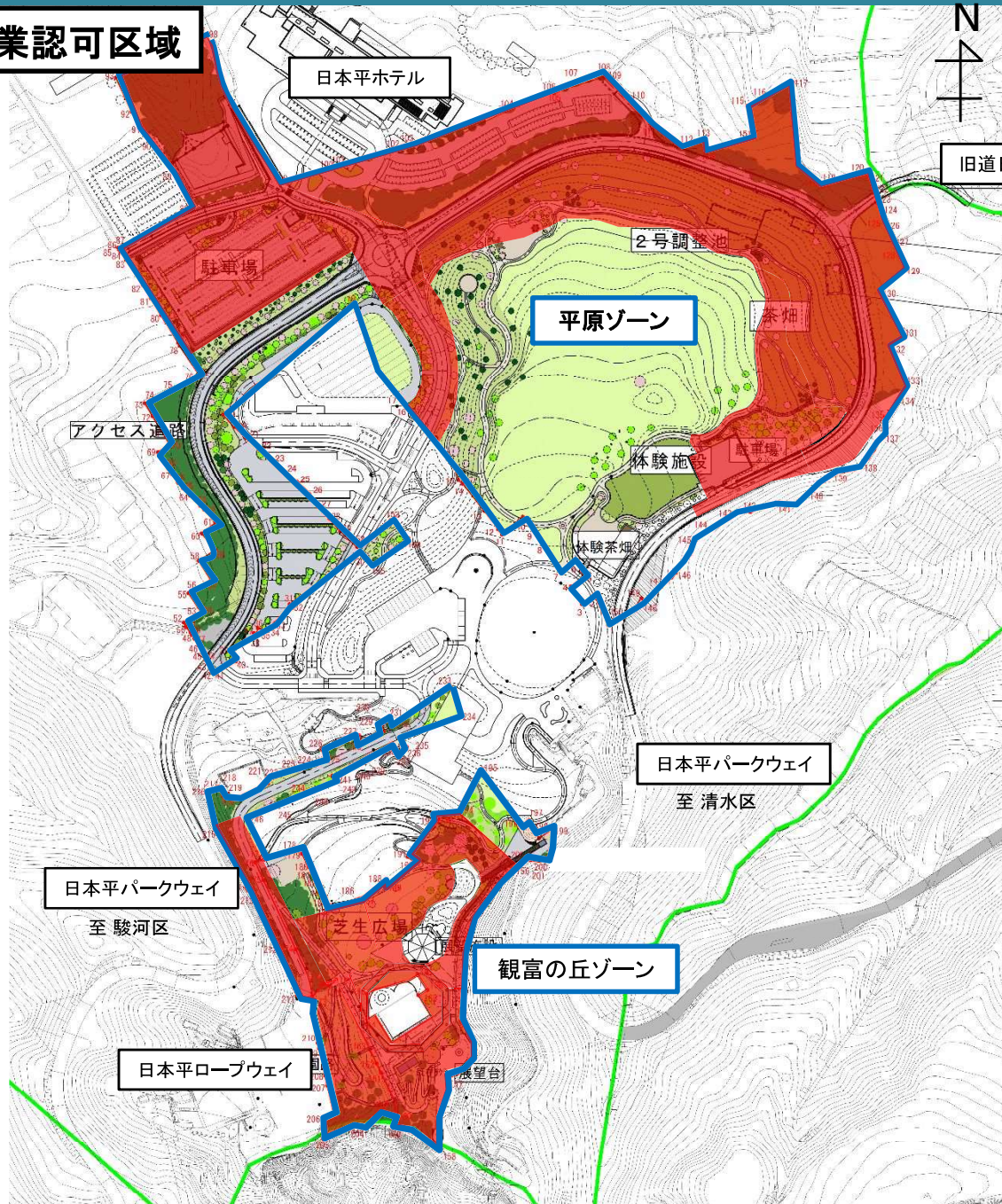
平原ゾーン整備後イメージ図



山頂部整備

社会資本総合整備計画概要

事業認可区域



事業認可区域 16.8ha
(平原ゾーン及び
観富の丘ゾーンの一部)

供用開始区域 9.4ha
供用開始区域(第3期)
2.9ha

評価内容① 要素事業の進捗状況

評価内容① 要素事業の進捗状況

A 基幹事業

事業種別	事業箇所名	評価時計画			評価時の完成状況
		計画内執行額 (百万円)	計画期間内 の進捗率 ※事業費ベース ※()内は全体事業費 との進捗率	事業内容	
		計画内事業費 (百万円)※内示			
		全体事業費 (百万円)			
公園	都市公園事業 (日本平公園) (A12-001)	793	100% (62.6%)	芝生広場、山 頂園路、アク セス道路、の 整備	次期計画 へ継続
		793			
		1,266			



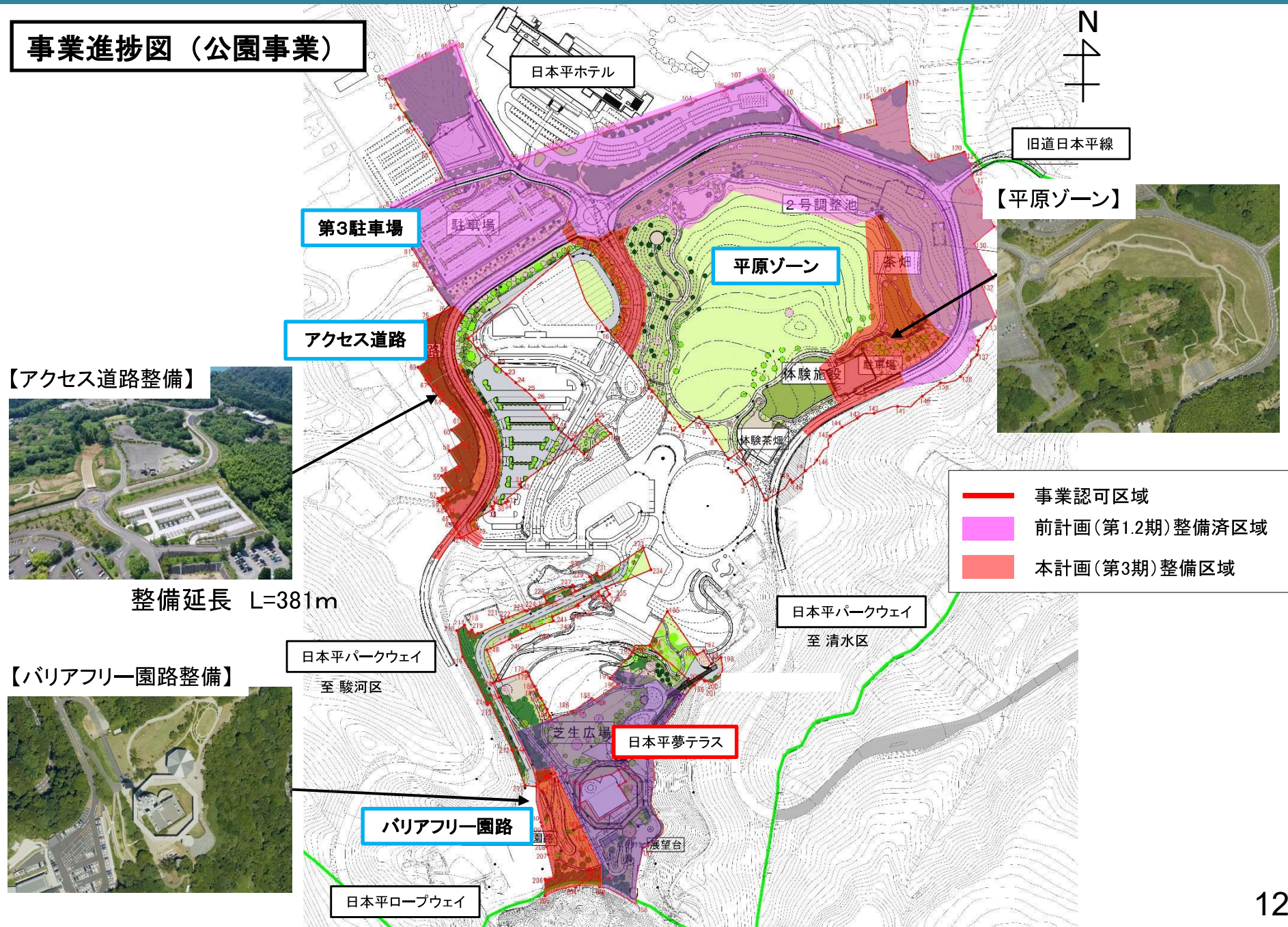
【平原ゾーン】



【山頂園路】

評価内容① 要素事業の進捗状況

事業進捗図（公園事業）



評価内容① 要素事業の進捗状況

A 基幹事業

事業種別	事業箇所名	評価時計画			評価時の完成状況
		計画内執行額 (百万円)	計画期間内 の進捗率 ※事業費ベース ※()内は全体事業費 との進捗率	事業内容	
		計画内事業費 (百万円) ※内示			
		全体事業費 (百万円)			
公園	電線地中化事業 (A12-002)	74	100% (37.0%)	電線地中化工事	次期計画 へ継続
		74			
		200			



【景観の支障となる電柱】



【電線管路布設状況】

A 基幹事業

事業進捗図（電線地中化事業）



評価内容① 要素事業の進捗状況

A 基幹事業

事業種別	事業箇所名	評価時計画			評価時の完成状況
		計画内執行額 (百万円)	計画期間内の進捗率 ※事業費ベース ※()内は全体事業費との進捗率	事業内容	
		計画内事業費 (百万円)※内示			
		全体事業費 (百万円)			
公園	水道施設設置事業 (A12-003)	249	100% (36.4%)	日本平公園整備に伴う水道施設の設置	次期計画へ継続
		249			
		684			



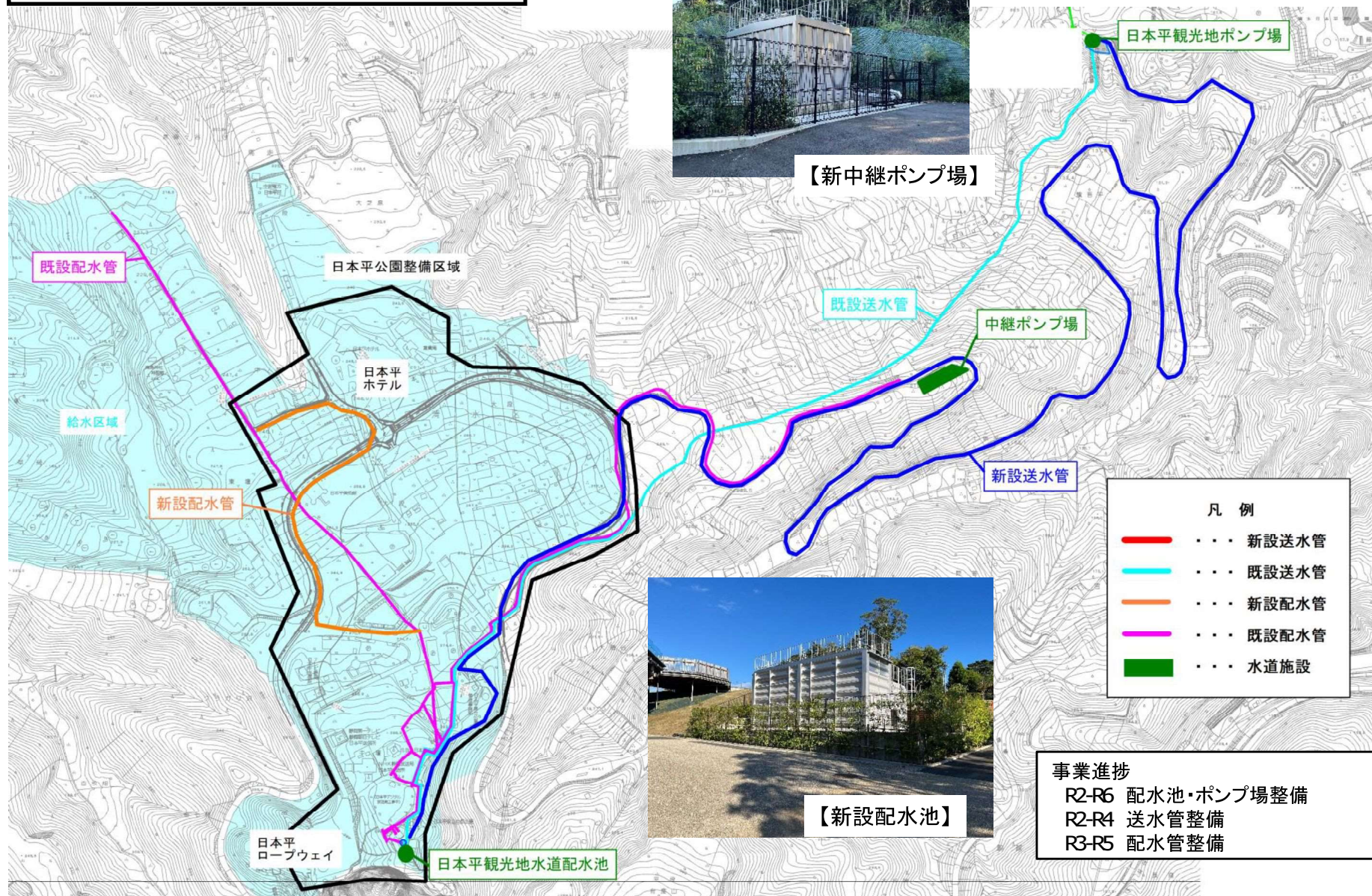
【既設配水池】



【新設配水池】

評価内容① 要素事業の進捗状況

事業進捗図（水道施設設置事業）



B 関連社会資本整備事業

事業 種別	事業箇所名	評価時計画			評価時の 完成状況
		計画内執行額 (百万円)	計画期間内 の進捗率 ※事業費ベース ※()内は全体事業費 との進捗率	事業内容	
		計画内事業費 (百万円)※内示			
		全体事業費 (百万円)			
道路	市道清水日本平線 外舗装修繕事業 (B01-001)	40	100% (100%)	舗装修繕	完成
		40			
		40			

整備前



整備後



B 関連社会資本整備事業

事業 種別	事業箇所名	評価時計画			評価時の 完成状況
		計画内執行額 (百万円)	計画期間内 の進捗率 ※事業費ベース ※()内は全体事業費 との進捗率	事業内容	
		計画内事業費 (百万円) ※内示			
		全体事業費 (百万円)			
道路	市道池田日本平線 整備事業 (B01-001)	38	100% (47.5%)	舗装修繕	完成見込み
		38			
		80			

整備前



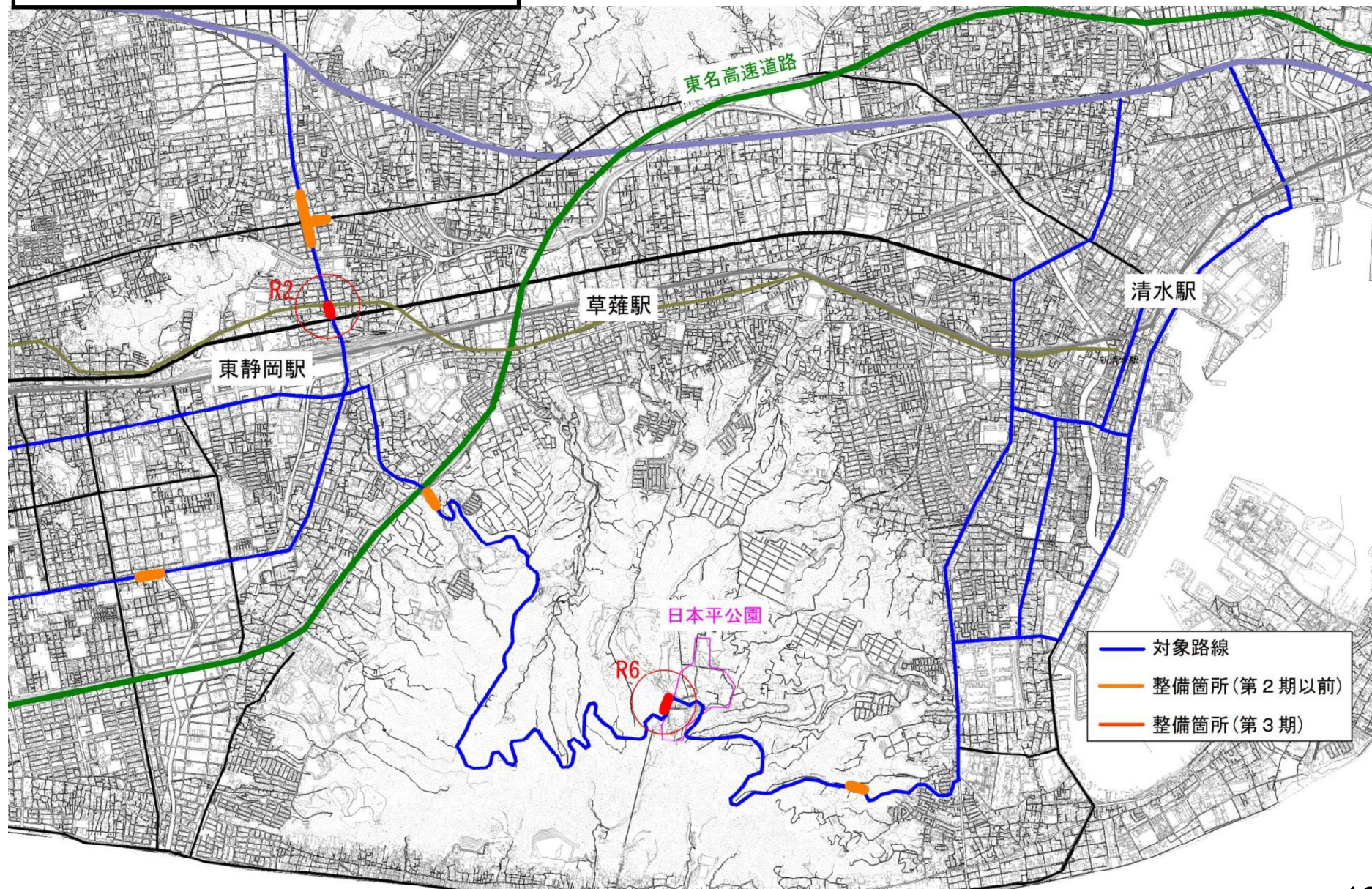
整備後

(令和6年度末完成見込み)



評価内容①要素事業の進捗状況

関連社会資本事業進捗図（道路）



評価内容① 要素事業の進捗状況

C 効果促進事業

事業種別	事業箇所名	評価時計画			評価時の完成状況
		計画内執行額 (百万円)	計画期間内の進捗率 ※事業費ベース ※()内は全体事業費との進捗率	事業内容	
		計画内事業費 (百万円)※内示			
		全体事業費 (百万円)			
公園	水道施設設置事業	136	100% (90.7%)	日本平公園整備に伴う水道施設の設置	次期計画へ継続
		136			
		150			

整備前



整備後



評価内容②

社会資本総合整備計画に記載した 評価指標の目標値の実現状況

■成果目標の達成状況

指標： 日本平山頂地域の観光客数

成果目標

日本平山頂地域の観光客数を
1,890千人／年(R2当初)^{※注}から
2,200千人／年(R6末)に増加(16.4%増加)

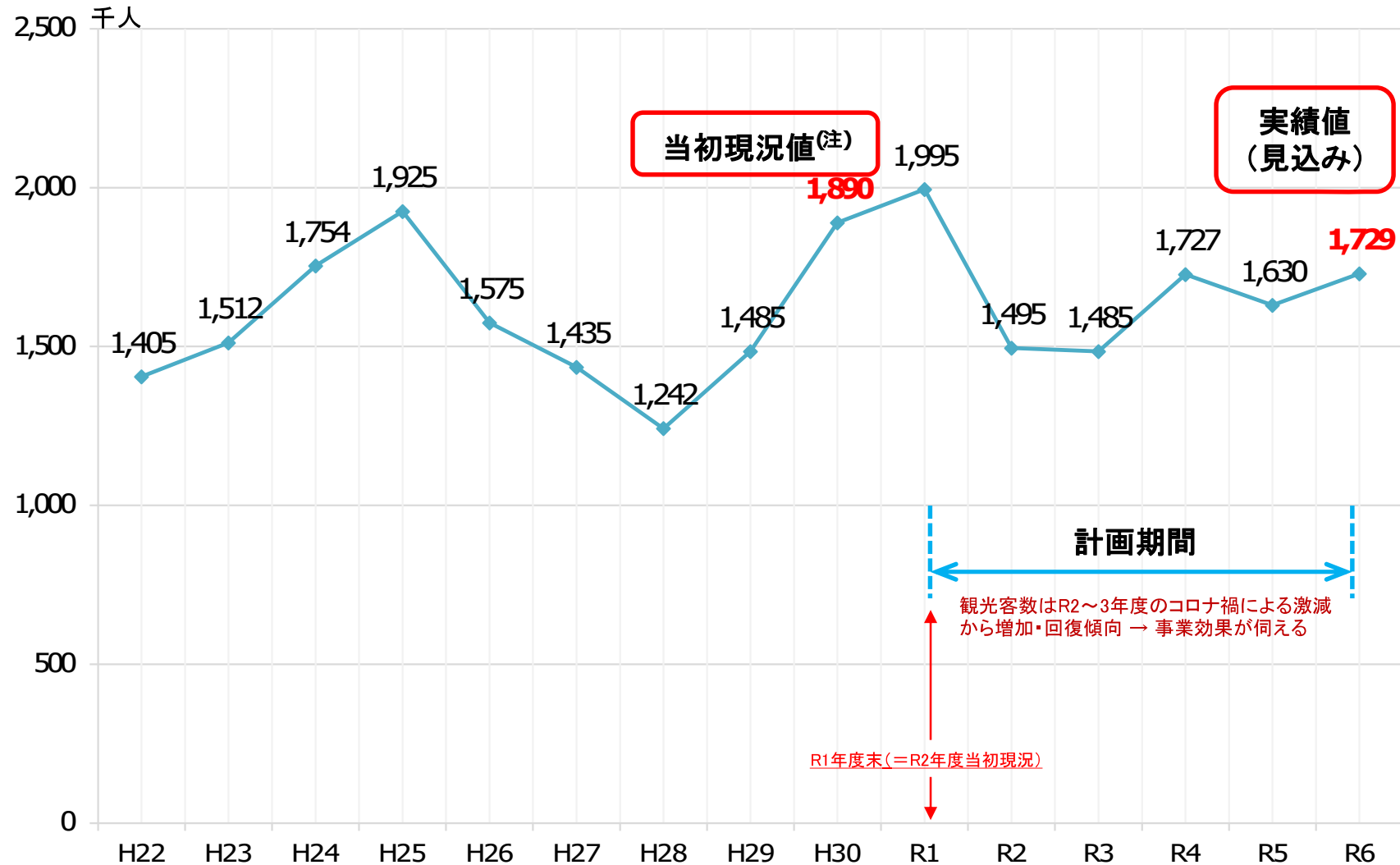
計測方法

$$(\text{観光客数の増加率}) = \frac{\text{R6末の年間観光客数} - \text{R2当初の年間観光客数}}{\text{R2当初の年間観光客数}} \times 100\%$$

(注) 本整備計画における指標のR2当初数値1,890千人／年はH30年度末実績値

→ 本整備計画策定時点(整備期間初年度R2の前年R1年度途中)においては、成果指標(観光客数)の比較に用いる
R2年度当初、即ちR1年度末の実績データが存在せず、直近データとなるH30年度末の実績値を採用している

日本平山頂地域の観光客数の推移



(注) 本整備計画策定時点(整備期間初年度R2の前年R1年度途中)においては、「当初現況値」となるR2年度当初、即ちR1年度末の実績データが存在しないため、直近データとなるH30年度末の実績値を採用した

■ 成果目標の達成状況

指標： 日本平山頂地域の観光客数

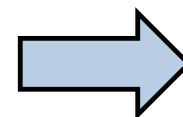
目標値 **2,200千人**

令和6年度実績（見込み） **1,729千人**

観光客の増加率

目標値 **10.3%**

実績値 **-8.5%**



成果：未達成

$$\frac{\text{R6末の年間観光客数} - \text{R2当初の年間観光客数}}{\text{R2当初の年間観光客数}} \times 100\%$$

(R2当初の年間観光客数) (注)便宜上H30年度末実績値を採用(P22(注)参照)

評価内容③ 事業効果の発現状況

評価内容③ 事業効果の発現状況

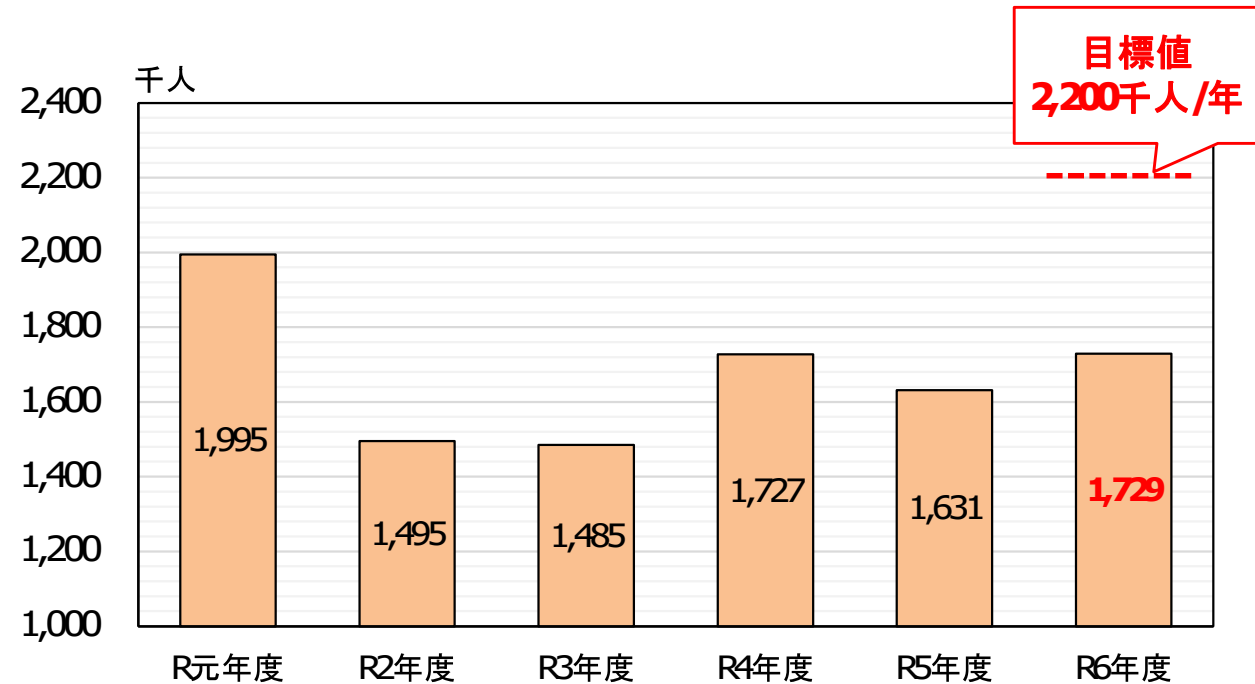
従前値(計画当初設定値)

2,200千人/年



実績値(R6末見込み)

1,729千人/年



目標値と差が出た要因

- 新型コロナウイルスの流行による外出自粛等の影響
- インフラ整備(アクセス道路、水道施設)中心の整備計画期間

目標達成には至らなかったが、各要素事業と民間事業との相乗効果による事業効果がうかがえる

■ 都市公園事業（日本平公園）

各要素事業間の相乗効果による、事業効果がうかがえる
（利便性の向上、視点場の整備による景観の魅力向上）

【平原ゾーン芝生広場整備】

整備前



整備後



山下清

歌川豊国
名勝八景三保と雁



日本平夜市

平原ゾーンの芝生広場整備により、名画の構図と同じ「茶畑越しの富士」という価値ある郷土景観を来園者に思いおもいに楽しんでもいただけるようになった。また、観光協会との連携による「日本平夜市」も開催されるなど、景観を楽しみながら使えるイベント会場としての活用が進んでいる

■ 都市公園事業（日本平公園）

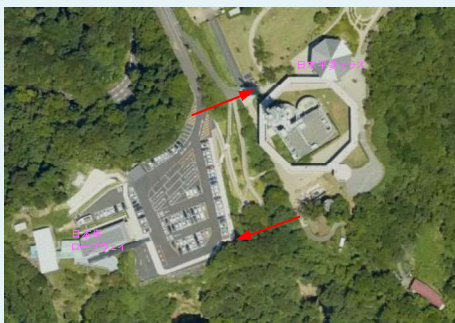
各要素事業間の相乗効果による、事業効果がうかがえる
（利便性の向上、視点場の整備による景観の魅力向上）

【山頂園路整備】

整備前



整備後



バリアフリー園路の整備により、ロープウェイと夢テラス間の徒歩での往来が可能となり、移動円滑化と回遊性の向上が実現した

【山頂配水池整備】

整備前



整備後

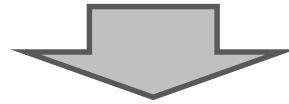


旧配水池の低い位置への更新（整備）により、焼津、御前崎方向の海の景観の阻害要因が解消され、より良い眺望を確保した

評価内容④ 今後の方針

評価内容④ 今後の方針

更なる魅力と価値の向上のため、
令和6・7年度に日本平公園基本計画を改定



引き続き、日本平公園整備事業を本市総合計画の
重点プロジェクトに位置付け、絶景の感動体験を満喫
できる公園の整備を継続する

観光地域づくり(サステナブルツーリズムの拠点)の実現

